



三 和 鎌 田
サッカー部通信
Estrela Express
エストレラ エクスプレス
第 3 2 号
令和 2 年 5 月 12 日

アーカイブ



歩み Vo25 ～ ゲームを考える ～

新型コロナ対策で、行動に制限が求められる中、パチンコ店に行列が出来ているという報道には心が痛みます。「やりたい」と言う心には制限は難しいものなのではないでしょうか。私は、この期間でサッカー部の子どもたちが、安易なこと、特にゲームに心を奪われてはいないかと心配しています。

ゲームは、手軽で、楽しく、飽きずに続けることができるので、依存の特性があると言われており、ゲーム依存で昼夜が逆転したりする青年もあります。スポーツの良いところは、苦しいことを乗り越えることで、新しい自分を発見することです。苦しいことは一日中、続けることはできないので、目標を持って、毎日コツコツと続けることが必要です。そんな体験を通じて得られた「努力の証」は、子どもたちが成長するうえでかけがえのない財産です。私は、ここにスポーツの意義があると思います。

しかし、ゲームは、一日中、何のストレス無しに続けることができるのです。これから自己を確立しなければならない子どもたちにとっては、ゲームを適切に管理するのはかなり難しいです。少なくとも、学校に通う間は、ゲームからは隔離されていますが、この休みの中で、楽しく、手軽にできるゲームが生活のリズムの中に入り込んでいないかと心配です。

集まっての活動ができない今、部としてできることはあまりありませんが、ご家庭でも、コツコツとスキルアップ、リフティングなどを続けることへの励ましの言葉をお願いします。

